

選手直前インタビュー 俺の出番だ!!



橋本 強 (愛媛/89期)

12月広島記念でコケて、新車に換えてから調子がいい。パイプやサイズは変わらないけど、タテがめっちゃ楽だしブロックしやすくなりました。落車の影響もないから、あの落車はプラスでしたね。競輪祭ぐらいは乗り心地が悪いなっていうのがあったけど、それがなくなったので。地元記念だし頑張りますよ。



渡部 哲男 (愛媛/84期)

最近の成績はいいんですけど、感触はそこまでよくないんですよね。流れがよくて、前の先行選手が頑張ってくれているおかげ。この後も悪いところを探りながらやっていきます。暖くなれば調子も上がってくると思うので、しっかりトレーニングします。まずは決勝に乗れるように。気負わずいつも通り走ります。

松本 貴治 (愛媛/111期)

立川記念の2勝からF1は3連続優出と今年は調子を上げて来ていただけに、2月大宮の落車は残念だが、まだここまでには時間もありません調子を戻してくるだろう。初の地元記念で上位進出に期待だ。



今野 大輔 (愛媛/111期)

直前の奈良記念では初日にS級初勝利を飾ると二次予選では南潤をまくって準決勝まで勝ち上がった。S級では苦戦していたが、これで流れをつかんだはず。勢いそのままに地元記念でも大暴れする。



川口 公太郎 (岐阜/98期)

1月防府でのS級初優勝を飾ると、続く和歌山でも優出と近況乗れている。防府の決勝では2センターから狭いコースを鮮やかに突き抜けた脚は本物で、今シリーズも初日から見逃せない一車となる。

第113回生 日刊プロスポーツ新聞社杯 Rookie Champion Race

若鷲賞

3/10 (日) 最終日 9R



第113期生・ルーキーチャンピオンレース若鷲賞」が松山記念最終日の3月10日、第9Rにて行われる。S級選手は過半数を上回る5名で、好素質ぞろいと前評判通りの活躍を全国各地で披露している。S班候補生による一発勝負は見逃せない。

場所目の2月松戸は1③2着。決勝は8番手から反撃するも、松井宏佑の逃げに乗った岩本俊に合わせて番手から出られてしまふ厳しい展開を凌いでの準Vだった。S級の戦いぶりからVに最も近いとみて中心視した。松井も1・2班戦は3場所所クリア。S級5場所目の2月松戸では3日間逃げて1⑨着。S級で初の優参を果たすと、決勝は積極的に駆けて岩本俊のVに貢献している。トップスピードは素晴らしいレベルで、タイミングよく仕掛けて主導権を握れば押し切りも大いにありうる。

野球で培った身体を活かしたパワー先行が魅力な河合佑弥も好勝負が見込める。2月西武園は予選、準決と先行で連勝、準決では小嶋敬をまったく寄せ付けなかった。森田優弥、小玉勇一、小林泰正ら関東勢と連係するのにも注目したい。

卒記チャンプの藤根俊貴も怖い。まだS級では走っていないが、49走で44勝を挙げている、勝率約9割は圧巻の数字だ。

